

「師の言葉、今も支えに」

昭和30年卒 小林貞子

講堂が新設されてその柿落としにシユタフォン・ハーゲン氏のヴァイオリン演奏会が催されました。ハーゲン氏はにこやかに登場されて私達にも馴染みのある曲を演奏して下さり大変感動致しました。その時花束を贈呈されたのが「宮先生のお嬢さまであつたと最近になって当時文化部で演奏会の裏方をされたお方からお聞きしました。

3年生の時の文化祭で我々ダンス部は舞踊劇「シンデレラ」を上演することとなり、振付けやレコード選び、衣装等も手作りしてほんとうに一生懸命頑張りました。

今の講堂は床が板張りのようですが出来た当時はコンクリートの床でその上に直にブルマーのまま座ってよく柔軟体操をしました。戸部先生の「イチニ!!」のかけ声と共に身にしむその冷たさが思い出されます。

卒業式では原田親校長先生のお話の中に「地球の歴史に較べると人間の一生は瞬間にすぎないのであるから大切に懸命に生きて行くように」とのお言葉があり強く胸に響きました。今も折にふれ気持ちを奮い立たせる支えとなっております。

「懐かしき青春の一齣」ひとしづま

昭和35年卒 河原昭文

昭和38年10月、高校生活最後の秋を迎えていた。朝日高は県下有数の進学校として、大学合格を最優先にしていた。そのためばかりではないだろうが、修学旅行はなく、運動会あとのファイアーストームも禁じられていた。あまりにさびしいではないか。私は生徒会の役員をしていた江田五月、寺田明生、河田知己らと語らって、運動会あとのファイアーストームをやることに決め、消防署の許可もとった。しかし、その動きが学校側に知れて、大講堂で生徒総会が開かれた。学校を代表して伊藤省吾先生（あいにく私の担任だった）が禁止の理由（過去に不祥事があった等）を説明された。一年生が学校のいうことを信じて発言した。私は「階席で手を上げて「二年生は何も知らない。学校はとにかく大学合格優先で、家庭科の授業をしないで、英語の点数を流用している。学校を信じてはいけない。」といった。とたんに伊藤先生が立上がり「河原！出て来い！学校が信じられないなら学校をやめろ！」と怒鳴られ、生徒総会はそのまま終了した。

運動会当日いろいろなことがあり、ファイアーストームは結局中止した。伊藤先生から、やったら退学だといわれていたので、中止してはなかったら、今の私はなかつたかもしれない。青春の懐かしい一齣である。

「大講堂は練習場」

昭和50年卒 古川直裕

私は在学中にバドミントン部に所属していました。当時のバドミントンの練習は大講堂で行っていたため、私にすれば、大講堂と聞けば式場というよりも練習場という感が強く、また、ほぼ毎日通い詰めた思い出深い場所でもあります。私の在学中には、りっぱな体育館も完成したのですが、当時すぐには部としての使用ができず、私の活動時期のほとんどは大講堂での練習でした。

大講堂の床は、舞台下ではスルスルと滑り、奥の板の間は微妙に傾斜もあつて、とてもバドミントンをするのに適したものではありませんでした。初めての対外試合で、通常の体育館で試合があつた時、朝日高の練習場なら、止まっても足が滑って多少は前に進むのに、キョツと足が止まってシャトルに微妙に届かない、と面食らつたことが笑い話となります。

クラブ活動ばかりやつていた私は、高校時代の多くの時間を大講堂で過ごしていたため、今、人が入ることもなく放置されていると聞いて、ちょっと寂しい思いがしています。

「二階は丙午女子の指定席」ひのえつま

昭和60年卒 琵琶名里子

私たち昭和60年卒生は「ひのえつま」世代である。当然、女子生徒も他の学年に比べ少ないため、全校で大講堂を利用する際、私たち丙午女子は3年間変わらず二階席をあてがわれた。眺めは良いが、生徒総会で恒例となつていたトイレットペーパー投げをするには舞台が遠すぎた。

3年時、母校は創立百十周年を迎えた。市民会館での式典開催を前に、大講堂で校歌練習をさせられた。ご存知の通り、校歌の後半繰り返し部分しか覚えていない者が多く、確か学年毎に歌わされた。3年生の順番になると、わずか数小節歌つただけで、「二階はもうよい」と中山先生に止められた。声がずいぶん大きかつたらしい。一階の生徒達も驚いたように二階を見上げていた。私たちはちゃんと三番まで校歌を覚えていた（私は今でも歌える）し、校歌が好きだから声も大きくなるのだ。

今、大講堂は使用禁止と聞く。いつの日か、大講堂で大きな声で校歌を歌いたい。もちろん、二階席で。

「心に刻まれた風船、花火」

平成2年卒 遊佐晃佳

大講堂の思い出は幾つかあるが中でも「生徒総会」は飛び抜けて印象深い。生徒だけの生徒による総会。生徒であふれる大講堂。一種異様な雰囲気の中、慣れない場に緊張していた僕の頭上を何かがかすめて行ったのを視線の端に捉えた。風船だ。正確には避妊具を膨らませた風船だ。何なんだこの生徒総会は？そしてこの学校は？二年時三年時も同じような生徒総会が当たり前のように開催された。ただ違うのは数名の先生が大講堂後方で監視をしていた。しかしその監視の間隙を縫って例の風船は飛び交い、そして打ち上げ花火が放たれたのだ。さすがに火の気はずかつた。首謀者はあえなく先生の手に落ちた。

僕の在籍した年の前後の生徒総会が一体どういうものだったかは知らない。でも多分あの騒ぎは代々受け継がれたもののように思う。

何をしてきた会だったのか今となつては覚えていないが朝日高での思い出の一つとして僕の心に深く刻まれているのは間違いない。

の大講堂

まり卒業式で終わった がそこにある

生徒が集った弁論大会(平成23年9月9日)

